

会議 報告

平成17年度動物衛生試験研究成績・計画検討会の概要

平成17年度試験研究成績・計画検討会が平成18年1月5日～13日に開催され、平成17年度実施課題、平成18年度新規提案課題（所内プロジェクト研究を

含む）平成17年度動物衛生研究成果情報候補課題についての検討が行われた。

（研究部等）	（開催日時）	（参加者数）	（検討課題数）
企画調整部	1月5日(木) 9:00～10:00	14名	4課題
疫学研究部	1月12日(木) 9:00～12:20	26名	29課題
感染症研究部	1月6日(金) 9:00～19:00	36名	59課題
免疫研究部	1月11日(水) 13:00～17:00	22名	23課題
海外病研究部	1月13日(金) 13:30～17:00	14名	14課題
生産病研究部	1月10日(火) 13:00～17:50	24名	26課題
安全性研究部	1月11日(水) 9:00～12:00	22名	23課題
プリオン病研究センター	1月5日(木) 11:00～17:00	31名	28課題
生物学的製剤センター	1月5日(木) 10:00～11:00	15名	3課題
北海道支所	1月13日(金) 13:00～17:00	8名	21課題
九州支所	1月13日(金) 13:30～17:00	13名	16課題
七戸研究施設	1月13日(金) 13:00～17:00	8名	10課題

海外病研究部においては日本大学生物資源科学部三浦康男教授及び農林水産省動物医薬品検査所伊藤治検査第一部長、九州支所においては鹿児島大学農学部安田宣紘教授及び宮崎大学農学部末吉益雄助教授、七戸研究施設においては北里大学獣医畜産学部

中村政幸教授に助言を頂いた。また、海外病研究部においては総合防疫研究官、北海道支所においては生産病研究部長、九州支所においては感染症研究部長、七戸研究施設においては疫学研究部長が本所より出席した。
(研究企画科)

平成17年度第2回支所長会議の概要

平成17年度第2回支所長会議が平成18年2月16日(木)に当所大会議室において開催された。会議には所長、企画調整部長、総務部長、総合防疫研究官、各研究部長、各センター長、各支所長、七戸研究施設長、研究企画科長、科長補佐及び主任研究官、研究交流科長及び主任研究官、情報資料課長、衛生検査科長、実験動物管理科長、庶務課長及び課長補佐、会計課長及び課長補佐が出席した。その概要は以下の通りである。

1. 所長挨拶

谷口所長より動物衛生を巡る現状、組織及び研究情勢の概要についての説明があった。

2. 総務部情勢報告

代田総務部長より平成18年4月以降の就業規則及び関連規程、平成18年度予算の概要についての説明があり、質疑応答がなされた。

3. 企画調整部情勢報告

村上企画調整部長より平成17年度動物衛生試験研究推進会議、平成17年度動物衛生研究所評価委員会、

平成18年度計画と連動する重点推進事項、平成18年度新規プロジェクト研究、産官学連携研究の推進についての説明があり、質疑応答がなされた。

4. 平成17年度試験研究成績・計画検討会報告

各研究部、センター、支所、施設長より平成17年度試験研究成績・計画検討会の報告がなされた。

(研究企画科)

平成17年度動物衛生試験研究推進会議の概要

平成17年度動物衛生試験研究推進会議(本会議及び評価企画会議)が平成18年2月17日(金)に当所大会議室において開催された。参集者所属部局(人数)は以下の通りである。

共立製薬株式会社先端技術開発センター(評価委員1)、農業生物資源研究所(評価委員1)、農林水産省農林水産技術会議事務局・研究調査官(1)、農林水産省動物検疫所(1)、農林水産省動物医薬品検査所(2)、農業・生物系特定産業技術研究機構(1)、中央農業総合研究センター(1)、畜産草地研究所(1)、東北農業研究センター(1)、九州沖縄農業研究センター(1)、農業生物資源研究所(1)、農業環境技術研究所(1)、食品総合研究所(2)、国際農林水産業研究センター(1)、家畜改良センター(1)、肥飼料検査所(1)、北海道立畜産試験場(1)、栃木県県央家畜保健衛生所(2)、群馬県家畜衛生研究所(1)、島根県立家畜衛生研究所(1)、沖縄県家畜衛生試験場(2)、動物衛生研究所(21)、以上46名。

本会議

1. 動物衛生試験研究をめぐる情勢

村上企画調整部長から、動物疾病の発生動向、第1期中期計画における動物衛生研究の取り組み、第2期中期目標における動物衛生の研究方向、研究課題の効率的推進に要する研究組織、動物衛生研究の推進方策について説明があり、討議がなされた。

2. 第1期中期計画における大課題の総括

各大課題担当研究部長より疫学、感染症、海外病、免疫、生産病、安全性に係わる試験研究成果の概要が説明され、討論がなされた。

3. 動物衛生試験研究に係わる要望事項に対する対応

農林水産省動物医薬品検査所から提出された要望事項「BSEに関する技術的協力、材料提供、施設使用の協力」、「動物用ワクチンのシードロットシステムに伴う標準品配布に係わる協議体制の構築」、「ヨーネ病診断法に関する技術及び情報等の共有化」

に対し、動物衛生研究所企画調整部長から対応方針が説明された。

評価企画会議

1. 平成17年度動物衛生試験研究主要成果の検討

平成17年度の主要研究成果として下記22課題が提案され、討議がなされた。

- 1) ヨーネ病の早期診断法に用いる遺伝子組換え抗原
- 2) ウロコルチン遺伝子の発現を指標としたヨーネ病の診断法
- 3) 増感in situ hybridization法によるヨーネ菌特異的遺伝子IS900検出法
- 4) 羊・山羊の扁桃からの異常プリオン蛋白質検出法のサーベイランスへの応用
- 5) 家畜中毒診断のためのオンラインマニュアル
- 6) 牛肉骨粉に含まれるプリオン蛋白質の検出法
- 7) 馬の新興パラミクソウイルス感染症の血清学的診断法(ELISA)の標準化
- 8) 輸入アヒル肉からの新規遺伝子型H5N1鳥インフルエンザウイルスの分離
- 9) 豚繁殖・呼吸障害症候群ウイルス日本分離株の遺伝学的多様性
- 10) 北海道で集団発生した新型牛パピローマ(乳頭腫)ウイルスによる牛乳頭腫症
- 11) *Histophilus somni* 免疫グロブリン結合タンパク質の推定アミノ酸配列の特徴と免疫学的性状
- 12) *Histophilus somni* 主要外膜タンパク質の構造および免疫学的特性
- 13) *Salmonella* Typhimurium DT104はADP-ribosyltransferase毒素と相同性を示す遺伝子(artAB)を保持している
- 14) 黄色ブドウ球菌由来潜在性乳房炎に対するrbGM-CSFとrbIL-8の治癒効果
- 15) 小型ピロプラズマ病の貧血発生時には末梢血マクロファージの赤血球貪食能が亢進する
- 16) オセロットにみられた胃侵入性Helicobacter感

染症

- 17) 心内膜炎原因菌 *Streptococcus gordonii* の宿主血小板への接着に必要な遺伝子領域の機能
- 18) カビ毒デオキシニパレノールは牛や豚好中球の活性酸素の産生を抑制する
- 19) 飼料および家畜体脂肪におけるポリ塩素化ナフタレンの蓄積
- 20) と畜場におけるBSE検査の定量的評価

21) 肥料用肉粕液の製造工程におけるプリオン不活化法の検討

22) *Staphylococcus aureus* 莢膜5型菌莢膜多糖体を用いた乳房炎簡易診断技術

2. 総括

村上企画調整部長により平成17年度動物衛生試験研究推進会議（本会議及び評価企画会議）の総括がなされた。（研究企画科）

平成17年度動物衛生研究所評価委員会の概要

平成17年度動物衛生研究所評価委員会が平成18年3月15日(水)に当所大会議室において開催された。評価委員として有限会社アニマル・メディア社岩田寛史ピッグジャーナル編集長、北海道大学大学院獣医学研究科小沼 操教授（評価委員長）、社団法人全国肉用牛振興基金協会鎌田啓二専務理事、木村容子群馬県家畜衛生研究所長、農林水産省消費・安全局釘田博文動物衛生課長、日本全業工業株式会社福井邦顕代表取締役社長、厚生労働省国立医薬品食品衛生研究所山本茂貴食品衛生管理部長を迎え、当所の一般業務及び研究活動の評価を受けた。独立行政法人

農業・生物系特定産業技術研究機構からは、岡村隆夫監事が出席した。当所からは、所長、企画調整部長、総務部長、総合防疫研究官、各研究部長、各センター長、各支所長、七戸研究施設長、研究企画科長、科長補佐及び主任研究官、研究交流科長、情報資料課長、衛生検査科長、実験動物管理科長、庶務課長、会計課長が出席した。議事録、評価結果とその対応については、平成17年度動物衛生研究所評価委員会報告として取りまとめられる予定である。

（研究企画科）

